

オールマイティー水性エポキシプライマー

アレス水性エポレジン

ALES AQUA EPO RESIN



1 優れた旧塗膜適性

2 優れたシーリング適性

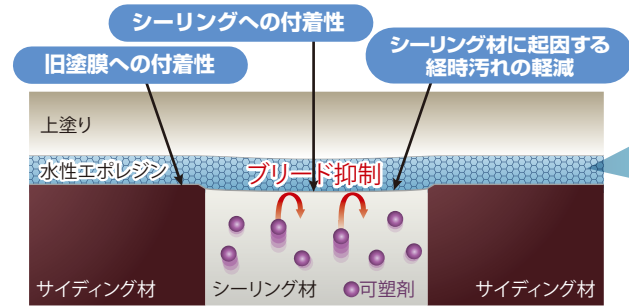
3 長期耐久性



オールマイティー水性エポキシプライマー アレス水性エポレジン

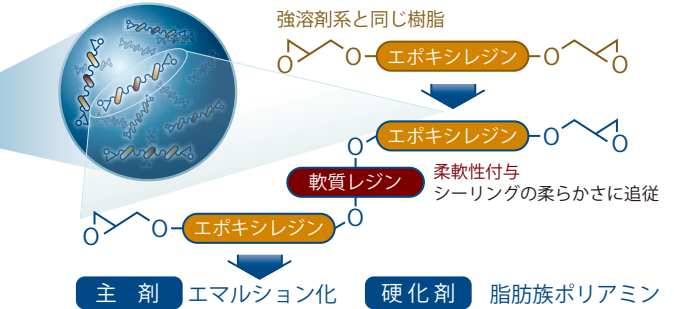
色 : 白
 荷姿 : 15kg セット
 ベース : 12.5kg 製品コード 13-242-700
 硬化剤 : 2.5kg 製品コード 242-701

《アレス水性エポレジンの特長》



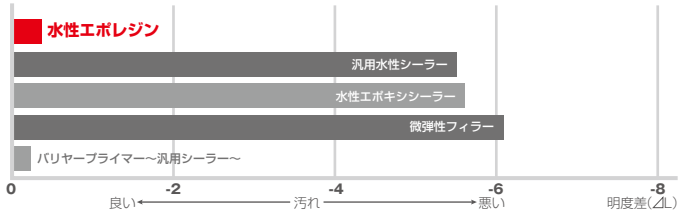
- 幅広い旧塗膜適正
各種業系サイディングボード、各種上塗り など
※無機系樹脂、ふっ素樹脂、シリコン樹脂など特殊な塗料で塗装されている場合は適用できません。
- 優れたシーリング材適性
ウレタン系(1成分) 変成シリコン系(1成分)
変成シリコン(2成分)
※シーリング材により一部適用できません。
※シーリングの動きが大きい場合はワレが発生する場合があります。
※詳細は弊社までお問い合わせください。

《水性エポレジン 構造図》



《可塑剤ブリード抑制効果 試験結果》

屋外露置試験(東京バコロ6ヶ月)



※1 塗装仕様: 変成シリコンシーリング材~各種下塗材~弱溶剤系ウレタン樹脂塗料
 ※2 シーリング材メーカーや種類、上塗材の種類によっては、結果が異なる場合があります。

標準塗装仕様書

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈剤	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	業系サイディングボードのクラック・ボード面の脆弱層のクラックなどは適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄面とする。シーリングは規定期間養生させ、十分に硬化、乾燥していることを確認する。					
下塗り	アレス水性エポレジン(ベース/硬化剤=5/1)	0.13~0.20	ローラー、はけ、エアレス	上水	0~15	4時間以上~7日以内
上塗り(1回目)	アレスアクアセラシリコン	0.13~0.16	ローラー、はけ、エアレス	上水	5~20	4時間以上~7日以内
上塗り(2回目)	アレスアクアセラシリコン	0.13~0.16	ローラー、はけ、エアレス	上水	5~20	—

■適用下地・旧塗膜

適用下地: 業系サイディングボード、コンクリート、モルタルなど
適用旧塗膜: リシン、スタッコ、吹付けタイル、アクリル樹脂塗料、ウレタン樹脂塗料、エマルジョン塗料等
 ※但し、活膜(付着力が、5N/mm²以上)であること。

■上塗り可能塗料

水性系: 水性ゾラコートEX、アレスアクアグロス、アレスアクアレタン、アレスアクアシリコンACⅡ、アレスアクアセラシリコン、アレスシルクウォール、アレスアクアセラフッソ等
弱溶剤系: アレスセラマイルド(クロス)、セラMレタン、カンペ1液MレタンHG、カンペ1液MシリコンHG、セラMシリコンⅢ、コスモマイルドシリコンⅡ、セラMフッソ等
 (特に旧塗膜がリシン面などの粗面の場合は所要量が大幅に増える場合がありますので、試験施工などで確認してください)
 ※塗料を厚く付けすぎると、ワレが発生する場合があります。
 ※繊維壁、耐火被覆材など表面が非常に脆弱な素材には塗装できません。
 ※旧塗膜がツヤ有り塗膜の場合、種類によっては適性がない場合がありますので試験施工などで確認してください。
 ※溶剤系塗料を上塗りに用いる場合は16時間以上乾燥させてください。

施工上の注意事項

- ①ベース、硬化剤は正確に計量し、電動攪拌機を用いて、よくかき混ぜてから使用してください。
- ②2液形塗料のためベース/硬化剤混合後、4時間以内で使用してください。夏場の場合は2時間程度で使用不可となります。
- ③低温時(5℃以下)、多湿時(85%以上)、降雨、降雪の予想される時は、施工を避けてください。
- ④劣化が大きい場合は、下塗りを1回増し塗りしてください。
- ⑤サイディングボードに既に反り、欠落、ワレ、変形が発生している場合には、サイディングボードを取り替える必要があります。
- ⑥シーリング材とサイディングボードとの接合面に、剥がれ、ウキが認められる場合には、シーリング材を打ち直してください。
- ⑦軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型業系サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法(高断熱型外壁)を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗りに「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守って下さい。
 ■詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 予防策
 ●取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
 ●吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。
 ●取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
 ●皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、顔巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
 ●火気と避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
 ●火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
 ●裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
 ●本来の目的以外に使用しないこと。
 ●指定材料以外のものは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
 ●缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
 ●取り扱い後は、洗眼、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
 ●使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
 ●本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 対応
 ●目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
 ●皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
 ●吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
 ●飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
 ●漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
 ●火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保管
 ●指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
 ●直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
 ●子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄
 ●本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施行後の安全
 ●本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立である旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934
 北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
 東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
 北関東 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223
 東京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935
 中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
 大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603
 中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
 四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
 九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

ご用命は